

生産者の皆様へ

果樹類のカメムシ類の被害にご注意ください！

果樹類のカメムシ類とは

- 果樹類（かんきつ、りんご、なし、かき等）の果実を吸汁加害するカメムシの総称であり、**落果や奇形果等の被害**を与えます。
- 主な種類は、**チャバネアオカメムシ**、**ツヤアオカメムシ**、**クサギカメムシ**であり、森林のスギ、ヒノキなどの球果を餌に繁殖し、果樹園に飛来します。

主なカメムシ類



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

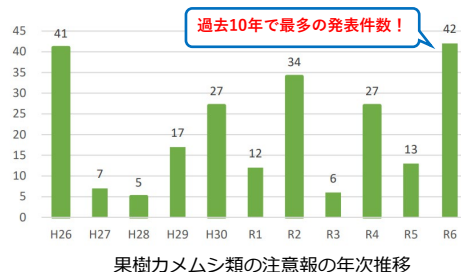


被害の状況



被害の発生に注意

- 令和5年12月から本年2月の平均気温が全国でかなり高かったことから、越冬個体の数が多く、関東以西のカメムシ類の発生量が多くなりました。
- 通常7月以降はスギ林やヒノキ林へ移動すると考えられていますが、餌の球果が豊富で当年世代が多発した場合のみならず、球果が極端に少ない場合にも、**越冬世代や当年世代が7月以降も果樹園地へ飛来するおそれ**があります。



防除対策

- カメムシ類の発生状況に応じて、以下のような防除対策を適切に実施してください。また、**スギ林やヒノキ林の隣接園では被害が多いことから、特に飛来状況に注意**してください。

○多目的防災網等の設置

発生が多い地域では、多目的防災網又は防虫ネットを設置しましょう。設置の際は、破れや隙間がないか念入りに点検しましょう。

○速やかな薬剤散布の実施

都道府県の病虫害防除所が発表する発生予察情報などの病虫害の防除に関する情報を参考に、園内を観察し、飛来を確認した場合速やかに薬剤散布を実施しましょう。

（薬剤散布のポイント）

- ・ カメムシ類は、薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的です。
- ・ 薬剤散布の際には、天敵への影響にも注意してください。

○袋かけの実施

なし、ぶどう等の有袋栽培の場合、早期に袋かけを実施しましょう。ただし、袋をかけていても、果実が肥大して袋に密着すると被害をうける場合があるので、注意してください。